

2019年度 北九州地域産業人材育成フォーラム地域連携型インターンシップ

研修型（短期）インターンシップ
実施後アンケート 集計結果

【受入企業版】

北九州地域産業人材育成フォーラム
2020年1月

●アンケート概要

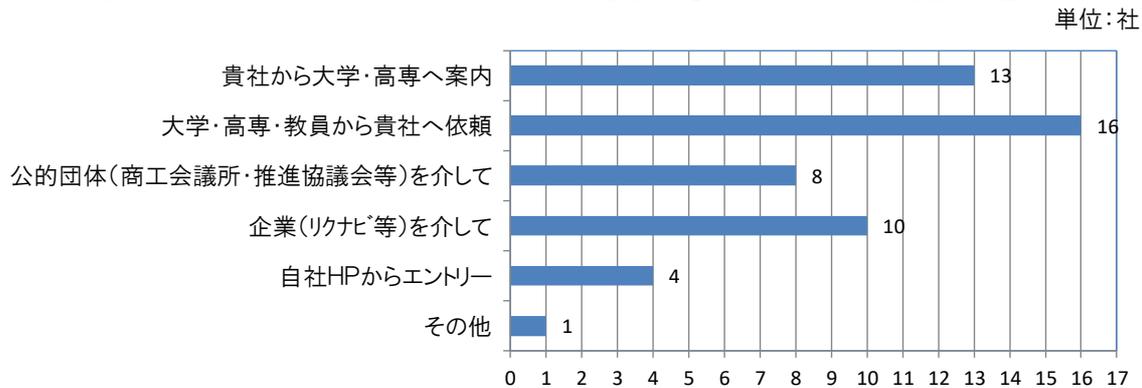
アンケート期間 : 2019年8月中旬～10月下旬
 対象 : 2019年度 インターンシップ実施企業 39社
 回収社数 : 38社 (回収率 97%)

1. 2019年度のインターンシップの受入人数について

	1名	2～5名	6～9名	10～14名	15名以上	
会社全体のインターンシップ受入状況	10	14	7	4	2	単位:社

	フォーラムのみ	1～3名	4～5名	6～9名	10名以上	
フォーラム以外でのインターンシップ受入状況	13	14	4	4	3	単位:社

2. 当フォーラム以外でのインターンシップの受入方法について (複数回答可)



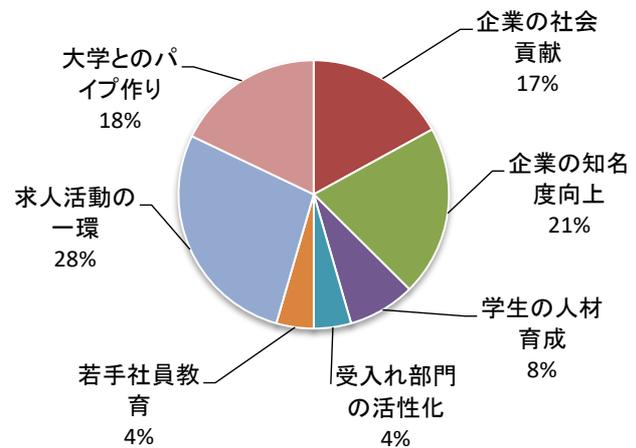
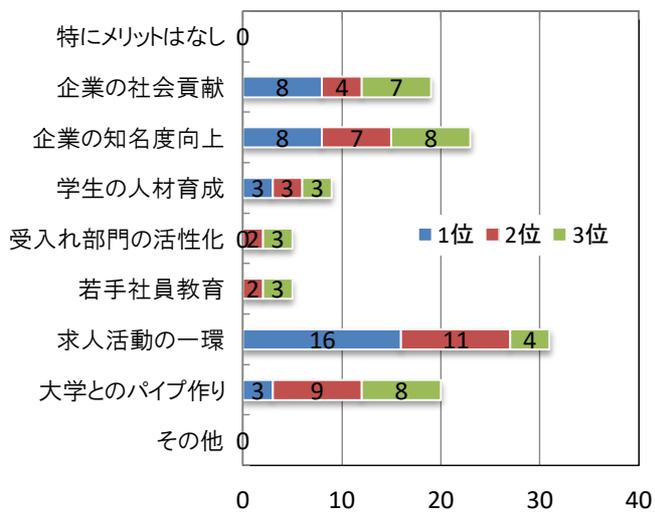
(上記方法を選択した理由)

- ・ 学生に情報提供する場を増やしたいから
- ・ 案内が来るので、申し込んでいます
- ・ 県外学校も受入しているため
- ・ 持ち込み案件が多数
- ・ 県外からUターン(学生)希望者も対象にしたい為
- ・ 従来からの受入ルート
- ・ 広く幅広いチャネルから募集している
- ・ 九州ポリテクカレッジから直接問合せがあり、当社に卒業生がいたため、インターンシップ受入しました
- ・ 以前より行っていたことを引き続き行っていたため。受入の窓口を広く持つため
- ・ 授業の一環として依頼があり、地域貢献および新規人材発掘の為
- ・ 弊社は文系出身の社員も多いため、フォーラム連携学校以外からも受け入れを行っています
- ・ リクルートサイトに情報を載せると、学生が比較的集まりやすいから
- ・ 多くの学生に当社インターンシップを知ってもらうために、学校への案内やナビサイトの使用等を行っています
- ・ 学校の就職課等へ、求人票と共にインターンシップの募集チラシを同封し募集した
- ・ 3年次のインターンシップ参加が実質的な就職活動のスタートになっているため、企業として出遅れないために各媒体を利用
- ・ 学校訪問でインターンシップの受け入れ確認が多くなり、進められたこともあり社内取り組みを始めました
- ・ 学校・学部を問わず多くの学生に企業アピールを行うため
- ・ 弊社の人材採用に向け、弊社の知名度向上に資すると考慮して、採用実績のある高校や専攻に関わりがある大学・高専に案内いたしました
- ・ 2017年度まで学校側からの依頼で夏季休業中の受入実績あり
- ・ 学校との関係強化の一環として主に学生への業務体験の提供や社員の指導力向上等を目的に実施
- ・ 弊社の未来を作るプロジェクトは全てインターン生で開発しており、タイのカセサート大学とパンナピアット経営大学とMOUを結び、年2回長期インターンシップを受け入れています
- ・ 広報経路を増やし、認知してもらいやすくするため
- ・ 従来より交流のある団体様経由
- ・ 北九州市外も含めて、多くの学生に参加してもらいたいため
- ・ OB出身が多いから
- ・ 毎年受入募集をしているため
- ・ 別フォーラムに参加しているため

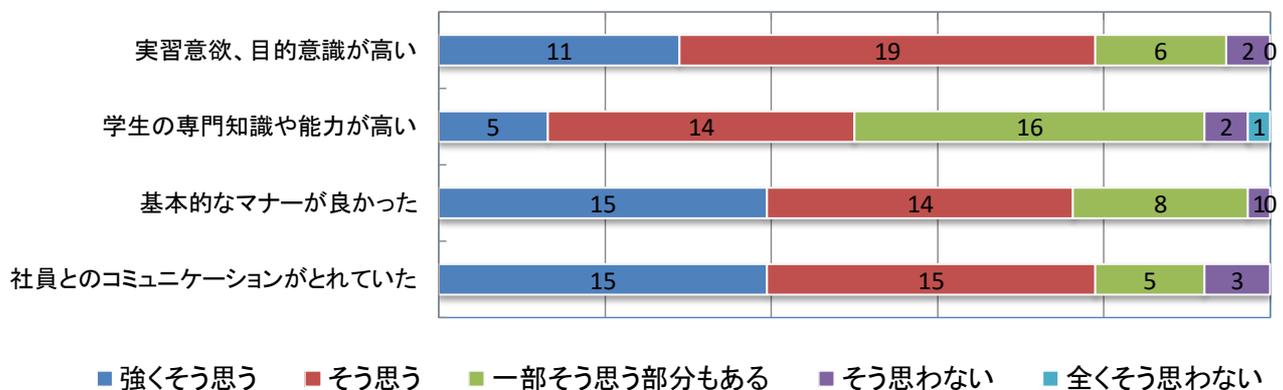
3. 2019年度インターンシップで受入を行った学生の所属学校について（複数回答可）
 ※フォーラム連携学校、高校は除く

大学名	企業数	大学名	企業数
九州国際大学	2	佐世保工業高等専門学校	1
北九州市立大学(北方キャンパス)	2	山陽小野田市立山口東京理科大学大学院	1
福岡工業大学	2	梅光学院大学	1
福岡大学	3	広島工業大学	1
九州産業大学	1	広島市立大学 大学院	1
九州大学	1	広島大学	1
佐賀大学	1	高知工科大学	1
大分大学	3	茨城大学	1
大分工業高等専門学校	1	慶應義塾大学	1
鹿児島大学	2		
熊本大学	2		
熊本大学 大学院	1		
宮崎大学	1		
長崎大学	3		

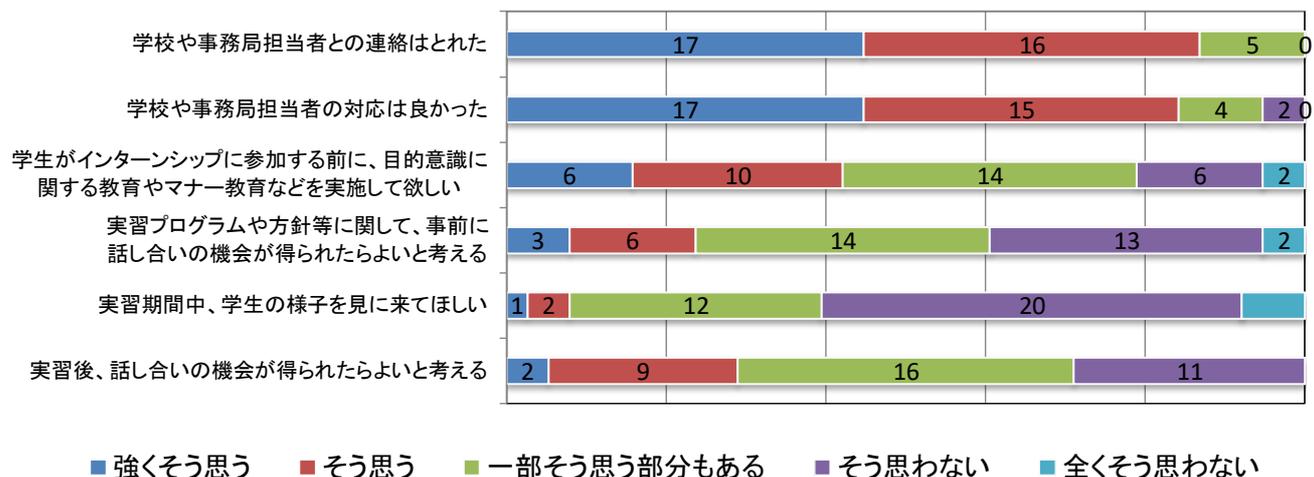
4. インターンシップを受け入れることによるメリットについて（優先順位3位まで回答）



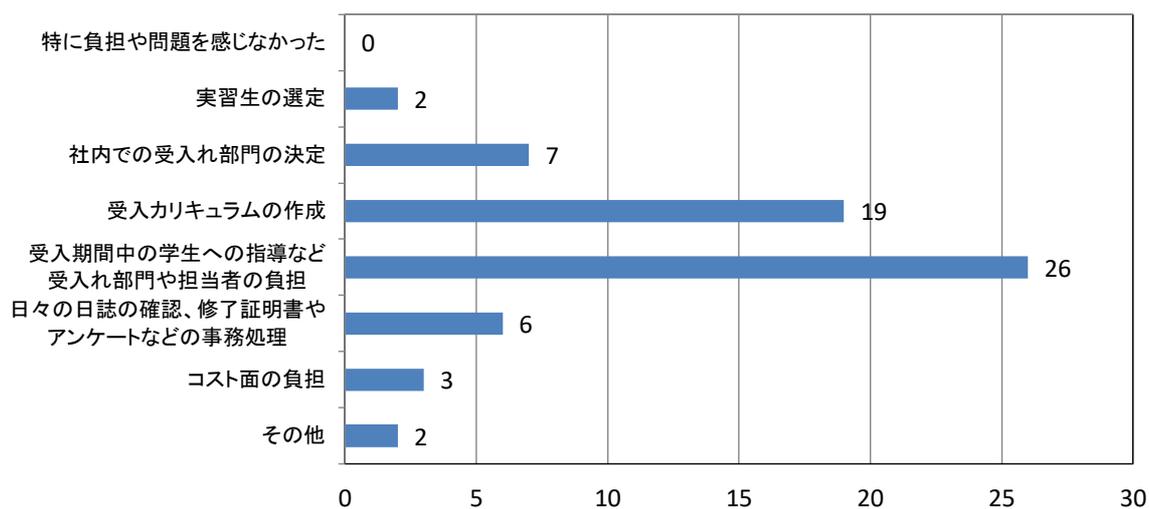
5. 2019年度インターンシップで受入を行った学生について



6. 学校や事務局の対応について



7. 受入に関して、どのようなところが負担や問題になっているか

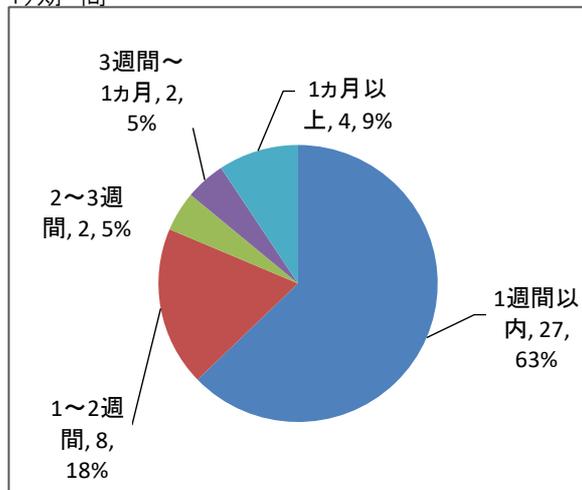


【その他】

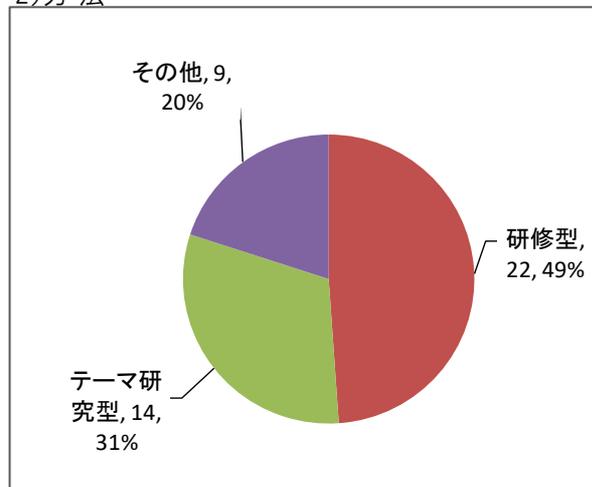
・各人業務で多忙なため十分な準備ができない事と、急な出張が入りスケジュールが狂い申し

8. 貴社が考える有効なインターンシップの方法について

1) 期間



2) 方法



9. その他、フォーラムのインターンシップに関するご意見・ご要望・ご感想など(原文)

- ・ 今回の学生さんのように、インターンシップの目的を自分自身であらかじめ意識、整理していただくと、より効果的かと思います。
- ・ 成果発表などの必須項目については、カリキュラムに記載しているのみでは、当該学生には認識が薄かったようです。必須項目に関しますことは、企業または学生いずれかがイニシアチブを取ることを明確にすべきと感じました。
- ・ フォーラム運営が円滑でありがたく思います。来年度も引き続きよろしく願いいたします。
- ・ 好事例の紹介他社での事例を紹介いただければ当社の研修内容を検討する際の参考になります。
- ・ このようなインターンシップの機会を頂きありがとうございました。
企業研究会での学生さんの集まりもよく、単位をとるためという学生さんは一人もおらず、質の高い学生さん達ばかりでした。院志望の学生さん達でしたので、採用につながるには少し長い道のりになるかもしれませんが、会社の認知を高めるよい機会になったと思います。有効な期間では4、5日としましたが、入社意欲が高く、マッチングする学生であればアルバイトとして数ヶ月単位での受入れは可能です。
- ・ 期間中、ずっと社員がついている状態ではないので、学生単独で動いている時間(自習時間等)も比較的多くなります。双方において事前に目的意識を共有することが重要と考えます。
- ・ 参加された北九州高専の学生二人とも熱心で、発表もしっかりしてました。
ロボット開発の実務に興味のある学生がもっと増えてくれればありがたいです。
- ・ 意欲的に取り組んでくださった学生さんには、担当者も好感が持てたようで他様々な実習を行ったようです。就職活動についても、考えられ社員とお話した学生さんもいるようでした。今後も、インターンシップを行っていく予定となっておりますので、宜しく願い致します。
- ・ 近年の学生さんたち、非常に大人しく、意思表示等もはっきりしない場面が度々見受けられます。
一つは現代社会(スマホ等コミュニケーションツールの普及で顔を合わせてのコミュニケーションの減少)による事が原因によることと思いますが、できる限り、私たちの方から声掛けして、コミュニケーションを取って行って社会に出たときに 少しでも役立つ経験になればと思っております
- ・ 今回の期間中は大雨の悪天候が続きましたので、ご参加いただいた学生の方にはくれぐれも安全を最優先し、無理はしないようにお伝えしましたが、全員、5日間とも無事にご参加いただきました。
今回のインターンシップでの経験を、今後の就職活動に活かしていただければ嬉しく思います。
引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
- ・ この度は、1名の学生様を紹介いただきありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
- ・ 弊社から何度か問い合わせを貴事務局にさせていただきましたが、いづれも丁寧にご対応頂き感謝しております。是非次年度も人材育成フォーラム様を通した学生の受け入れをしたいと考えておりますので、引き続き何卒よろしくお願い致します。
- ・ いつも、大変お世話になっております。今年西日本工業大学の学生を受け入れました。
理系ではありますが、機械などを操作したこともなく、工作機械をまじかで見ると初めてだったと思います。
初めは、会社概要の説明や製品の説明を行います。その後、安全教育を行い工場内での加工実習へと移ります。
実際の実習では、手動機を使用しての平面研削実習を行います。手動機を使用することで、感触が手にダイレクトに伝わりますし、耳で音を感じる事が出来ます。また、砥石を変更したり、回転スピードを変更したり、加工条件を変更することで、手に伝わる感触や耳に聞こえてくる音に変化が生じます。社内でも、とても重要な実習と捉えており、五感を研ぎ澄ます経験となり、その後の超精密微細加工に役立てています。最後には、風にもなびいてしまう、超合金製の0.03mmの極細ピンを作ります。まさに感動体験です。
この経験を通して、ものづくりの大変さや達成感、楽しさを体感していただければと思っております。
社内でも、負担は決して少なくありませんが、少しでも、ものづくりをしてもらいたいという思いで、行っています。最後に、生徒からお礼状が届くと、励みになります。
生徒自身は、見たことも、触ったこともない、機械を無事に使用できるのか、最初は不安な顔をしています。1日に1日、少しずつ慣れてくると自身に満ち溢れた顔へと変わっていきます。緊張感の中にも、達成感を味わう事が出来、とても満足な顔をして終了しています。この経験を多くの学生にしてもらいたいという事が、私たちの望みです。
今後とも、引き続き、どうぞよろしくお願い致します。

- ・ みなさん意欲的に参加して下さっており、大変好感が持てました。事務手続き、学生の選考の際には多々お手数をおかけしてしまいましたが、ご対応くださり、ありがとうございました。
- ・ 北九州の人材育成が中心となると思いますが、福岡県全域との連携が取れると助かります。例えば北九州市で行われた企業説明会(ひびきの及び九工大キャンパス内)を福岡市でも開催出来るような連携が出来たら北九州市・福岡市双方にとってメリットが出てくるのではと思いました。

非常に優秀な学生さんであり呑み込みが早かったために、課題のための試料作りを最初の予定より多めに作成させたために、最後の発表のための資料作りの時間が無くなってしまい土日に自宅で資料作成を行ったとのこと。弊社の反省が1番となりますが、最後までやり抜く学生さんの姿勢が好印象でした。

学校・事務局のご対応に関してですが、非常にレスポンスが早く、詳しい説明を受け助かりました。今後も担当者の変更されず弊社のサポートを頂ければ大変助かります。今後ともよろしく願い申し上げます。

- ・ 今回、参加してくれた学生は、コミュニケーション能力に優れており好印象でした。非破壊検査の模擬体験では、様々な質問をおこない、積極的に取り組んでいただきました。このインターンシップで非破壊検査の魅力を感じていただけたのではないかと思います。
 - ・ 初めてのインターンシップでしたが、無事に終わることができました。学生にとって有意義なものであったかわかりませんが、いろいろとご教授頂きありがとうございました。今後も引き続きインターンシップ活用していきますので、ご協力宜しく願い致します。
 - ・ 学校との調整も迅速にやっていただき、事務局の方に感謝しています。
 - ・ 他社の事例を紹介して欲しい。
 - ・ このたび、大学生のインターンシップ受入に際し、弊社の受入の仕方に不備や不足がありましたら、ご意見を頂戴したいと思います。学生がインターンシップの利用をどのように考えているか、インターンシップで体験したことの良かった面、改善を期待する点等のご意見もいただければ、弊社の今後の学生の受入に役立てられ、また学生が活気や関心を持って取り組んでもらえると考えます。
 - ・ 今回初めてKPEC様経由でのインターンシップ受入となりました。不慣れな点もあり、学生さんにはご迷惑をお掛けした事申し訳ございません。当社にて受け入れました、西工大の2名は真面目な学生でした。今年のインターンシップに関しては、希望する学生は全て受け入れたため、当社技術担当のマンパワーの関係上、学生の希望日数に沿うことができませんでした。この反省を踏まえ来年度は人数と期間はある程度限定しようと思っております。これからも引き続きよろしくお願い申し上げます。
 - ・ 実習期間中の学生におかれましては、社員の説明をよく聞き、不明点があれば積極的に質問されるなど、有意義な研修を進めることができたと思われまます。また、当社の社員についても、日頃教育指導する機会があまりないため、当社の事業や自分の業務について説明し、相手に理解してもらおう大変さを実感することができ、互いに有意義な内容であったと思われまます。
- 研修内容の設定について、今回は人材育成フォーラムを通じてであったため、学生の希望する研修内容が伝わりにくく、履歴書等を活用してカリキュラムを検討しなければならなかったことから、事前に研修内容を打合せる時間を設けて頂きたいです。また、研修時期についても多少幅を設けて頂けると調整がしやすいと思われまます。
- ・ 受入学生が弊社を選択した理由と、弊社の業務形態が一致していたことから学ぶ姿勢も好印象でした。
 - ・ 弊社は、北九州の中でも最先端の画像処理やシステム開発を行っており、多くの学生に最先端のテクノロジーに触れて頂いて、将来北九州で最先端の仕事を普及させていただき、北九州の発展や産業の発展に寄与してほしいと思っています。そのためにも、多くの学生に弊社のインターンシッププログラムの取り組みに興味を持ってもらえるよう学生と接しできる機会を多く作って頂けると有り難いです。
 - ・ 長期の取組を本格的に考えたいと思っていますのでご支援頂ければ幸いです。
 - ・ 大学生のインターンシップ受け入れ経験が無いため、他社の研修内容や方法が事例としてわかればありがたいです。